

データベース
サーバー用途

Windows Server 2019 を高速データベースサーバーとして活用!

~ SSDを利用して工数をかけずにデータベースを高速化 ~

企業が保存する文書や画像、動画などのデータ量が爆発的に増加しています。増加するデータを活用し、顧客分析や受発注処理などを行うデータベースサーバーでは、データ量が増加すればするほど読み書き、バッチ処理などの時間がかかり、利用者がストレスを感じたり、処理が時間内に終わらなかつたりといった事態が発生しています。今回の移行機会を利用して、処理時間を短縮するためにデータベースの高速化を行うことが大切です。

データベースの処理が遅くなる原因

アプリケーション起因とハードウェア起因に大別されます。アプリケーション起因には、不適切なデータベース設計、プログラミングが最適でないなどがあります。これらのボトルネックを解消するには、アプリケーションの再設計やチューニングなどを要します。しかし、昨今のエンジニア不足の状況では十分なリソースが確保できなかったり、技術的に容易でなかったりすることもよくあります。一方、ハードウェア起因には、CPU性能、メモリ容量やストレージ性能の不足などがあります。特に以前はハードディスク(HDD)を利用してデータベースサーバーを構築していたことも多いため、読み書きの性能が足りずにボトルネックとなることが多くありました。

簡単にデータベースの高速化を実現する方法

上述のボトルネックを解消するもっとも簡単な方法の1つが、最新のCPUと高速なストレージを利用することです。つまり、最新のサーバーを導入し、ハードディスクでなく、SSDを利用するシステムに移行することで、アプリケーションの設計やプログラムを変更することなく、データベースの性能を向上できる可能性があります。かつてSSDは、短寿命・高価格・低容量という問題がありましたが、ここ数年で大幅な技術進歩を遂げ、長寿命化・低価格化・大容量化が急速に進んでおり、SSDを活用しない手はありません。既存の業務システムを新しいシステムに移行するときは、できる限り手を加えないことは、リスクを低減させる方策として非常に有効です。この機会に、最新のサーバーに移行し、内蔵ストレージとして、SSDを導入することをお勧めします。

Microsoft SQL Server国内販売実績、2年連続No.1

Dell EMCは、Microsoft SQL Server国内販売実績、過去2年連続No.1で、2017年には「Data Platform Award」を受賞しており、Microsoft SQL Serverの導入についてのコンサルティング実績も豊富です。

国内サポートで高い評価を受け、官公庁・自治体で満足度調査No.1のPowerEdge

正社員による国内サポート

Dell EMCは、川崎のグローバルコマンドセンターと宮崎のカスタマーセンターを起点に、専門のサポートスタッフが受付からトラブル解決まで一貫して行います。



官公庁・自治体で満足度調査No.1

日経コンピュータ「顧客満足度調査 2018-2019」でも、デルは官公庁・自治体対象のサーバー部門でNo.1を獲得しており、高い評価を頂いています。



Dell EMC 1ソケットタワー型サーバー ラインナップ



製品名	T30	T140	T340
プロセッサ	インテル® Xeon® プロセッサ E3-1200 v5製品ファミリー 他	インテル® Xeon® E-2100製品ファミリー 他	インテル® Xeon® E-2100製品ファミリー 他
DIMMスロット	4	4	4
ストレージドライブベイ	最大4台の3.5インチベイ+2台の2.5インチベイ(※拡張キット要)	最大4台の3.5インチベイ	最大8台の3.5インチベイ
I/Oスロット	最大4個のスロット: ① x16 PCIe Gen3(x16 コネクタ)、 ② x4 PCIe Gen3(x16 コネクタ)、 ③ x4 PCIe Gen3(x4 コネクタ)、 ④ PCI スロット	最大4個のPCIe Gen3スロット: ① x8 Gen3(x16 コネクタ)、 ② x8 Gen3(x8 コネクタ)、 ③ x4 Gen3(x8 コネクタ)、 ④ x1 Gen3(x1 コネクタ)	最大4個のPCIe Gen3スロット: ① x8 Gen3(x16 コネクタ)、 ② x8 Gen3(x8 コネクタ)、 ③ x4 Gen3(x8 コネクタ)、 ④ x1 Gen3(x1 コネクタ)
電源	非冗長電源290W	非冗長電源365W	冗長電源495W、もしくは、ケーブル接続型非冗長電源350W
リモート管理	IPMI / Intel AMT 11.0	IPMI / iDRAC9	IPMI / iDRAC9
内蔵NIC	1GbE LOM x1	1GbE LOM x2	1GbE LOM x2
筐体サイズ	高さ36cm × 幅17.5cm × 奥行43.5cm	高さ36cm × 幅17.5cm × 奥行45.4cm	高さ43cm × 幅21.8cm × 奥行55.9cm
認証済みのWindows Server	Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016	Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019	Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019



デル株式会社 / EMCジャパン株式会社



●製品の購入には弊社の販売条件が適用されます。●製品写真の大きさは同比率ではありません。●本カタログに使用されている製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。●構成や仕様により、提供に制限がある場合があります。詳細は弊社営業にお問い合わせてください。●システム構成により、提供に制限がある場合もございます。●Dell EMC及びDell EMCが提供する製品及びサービスにかかる商標は、米国Dell Inc.又はその関連会社の商標又は登録商標です。●その他の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。●製品の実際の色は、印刷の高解像度で異なる場合があります。●仕様は2019年2月現在のものです。記載されている内容、外観(モニタ含む)及び仕様は予告なく変更される場合があります。最新の仕様および価格については、弊社営業またはホームページにてご確認ください。Copyright © 2019 Dell Inc., その関連会社。All Rights Reserved.

Windows Server 2019:
The operating system that bridges on-premises and cloud.



Windows Server 2019:
The operating system that
bridges on-premises and cloud.



Windowsサーバー世界シェアNo.1の信頼と実績^{*1} Dell EMC PowerEdge サーバー

~ 国内サポートで安心の1ソケットタワー型サーバー + Windows Server 2019ご紹介 ~

*1出典: IDC Worldwide Quarterly Server Tracker 2018 Q3 - Share by Company: Units and Vendor Revenue

国内サポートで高い評価を受け 官公庁・自治体での満足度調査No.1^{*2}の Dell EMCのPowerEdgeサーバーで、多忙な2019年を乗り切る

*2:日経BPガバメントテクノロジー 2018年秋号 自治体ITシステム満足度調査 2018-2019 PCサーバー部門1位

2019年は、企業IT担当者が多忙の年 ~ 万全の準備が必要です ~

これまで、企業、組織などで広く利用されてきたWindows Server 2008 / 2008 R2 が、2020年1月14日にサポート終了となります。10年以上という長期にわたってサポートされてきましたが、今後はセキュリティ更新プログラムの提供を含むすべてのサポートが行われなくなります。しかし、日本マイクロソフトの調査によれば、Windows Server 2008 環境を管理する企業の内、30%が人員不足やコストの問題から必要性を認識ながらも移行作業にまだ未着手です。しかし、サポート終了後も古いシステムを利用し続けると、セキュリティホールを利用したサイバー攻撃を受けたり、障害が発生したとしても、対応することができません。

2019年7月にはMicrosoft SQL Server 2008 / 2008 R2、そしてWindows Server 2008 / 2008 R2と同じ2020年1月14日にはWindows 7のサポートが終了します。さらに、国内においては、2019年5月には元号が変わり、2019年10月には軽減税率付の消費税率にアップされる予定です。これらの大きなイベントに対応するためにさまざまなITシステムが影響を受けます。特に人事や経理、ECなどの業務アプリケーションには、大なり小なり改修が必要になります。

しかし、エンジニア不足が叫ばれる昨今、これらの対応に十分なリソースが確保できない可能性があります。そのため、移行にはよりリスクを低減しつつ、生産性向上を実現する移行をしっかりと計画を持って実施することが重要です。

Windows Server 2008のサポートが終了する2020年1月までには、大きなイベントが盛りだくさん!



移行には2つ視点が重要

そのため移行にあたり、運用と用途という2つの視点で検討を始めることが重要です。

用途視点

どのような用途でサーバーを利用するかを検討した上で、最適な環境を選択します。例えば、ファイルサーバー、顧客管理データベース、営業支援システムといった用途に合わせて、検討が必要です。

運用視点

社内IT担当者のリソースを考慮しつつ、どのように運用し効率化するかを検討した上で、最適な環境を選択します。例えば、Windows 7からWindows 10へOSの移行が進むクライアント環境も考慮して、運用を考えることが重要です。

これらの2つの視点を踏まえた上で、導入コストと安心して利用するためのサポートを考慮します。

